

新フェロー紹介 (2017年)

フェローは、オペレーションズ・リサーチの研究と発展に多大なる貢献をなされた方に、その功績を称えて贈られる称号です。新フェロー3名の方が理事会で以下のとおり選ばれました。フェロー記は、2017年3月15日の春季研究発表会（沖縄県市町村自治会館）にて贈呈されました。

大橋 守 (おおはし まもる) 氏



昭和27年8月生まれ

【学歴】

昭和55年 大阪大学大学院工学研究科博士後期課程中途退学

昭和59年 工学博士 (大阪大学)

【職歴】

昭和55年 国立阿南工業高等専門学校 講師

昭和61年 愛媛大学教養部 助教授

平成4年 愛媛大学工学部 助教授

平成7年 徳島大学総合科学部 助教授

平成9年 徳島大学総合科学部 教授

平成21年 徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 教授

平成28年 徳島大学大学院理工学研究部 教授

平成29年 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授

現在に至る

【OR学会関係】

平成20～23年 代議員

平成24～25年 無任所理事

平成25年 秋季研究発表会実行委員長

平成24～27年 中国・四国支部支部長

大橋氏は、日本オペレーションズ・リサーチ学会において中国・四国支部の支部長を四年間務めるとともに秋季全国研究発表会の実行委員長を務める等その貢献は多大である。また数理科学の研究、教育に対して学内の、社会的に積極的な寄与をしている。

榎尾 博 (かしお ひろし) 氏



昭和36年8月生まれ

【学歴】

昭和59年 東京大学工学部計数工学科卒業

平成3年 スタンフォード大学工学部 Engineering Economic Systems 学科修士課程修了

平成13年 筑波大学大学院経営・政策科学研究科博士課程修了 (博士 (システムズ・マネジメント))

【職歴】

昭和59年 東京ガス株式会社入社

現在、電力トレーディング部

〔OR学会関係〕

平成 5～6年 研究普及委員
平成16～17年 庶務幹事
平成18～19年 会計理事
平成21～22年 表彰委員
平成22～23年 庶務理事
平成25年 研究普及委員
平成26～27年 研究普及理事
平成20～21, 24～25年 代議員

梶尾氏は、企業においてオペレーションズ・リサーチの各種手法を駆使して、会社の運営・経営に貢献してきた。とりわけ、需要予測、ガスの保安体制の最適化、ガス機器部品の物流効率化等に対する数理工学的手法の実務への適用成果が特筆すべきものである。東京ガス株式会社は平成6年と16年の二度、実施賞を受賞している。また、委員や理事として、公益法人への移行、財政健全化を実現するとともに、ORセミナー、企業事例交流会の開催にも貢献している。

桑野 裕昭（くわの ひろあき）氏



昭和42年4月生まれ

〔学歴〕

平成 8年 金沢大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了（博士(工学)）

〔職歴〕

平成 7年 金沢女子短期大学 講師
平成11年 金沢学院大学 助教授
平成20年 金沢学院大学 教授（現在に至る）
平成20年 国立成功大学 客座教授

〔OR学会関係〕

平成14年 春季研究発表会実行委員
平成15～18年 研究部会「意思決定とOR」幹事
平成16年 第16回RAMPシンポジウム実行委員会副委員長
平成17年～現在 中部支部運営委員
平成17年 中部支部シンポジウム実行委員会副委員長
平成18年 秋季研究発表会実行委員
平成21～24年 研究部会「数理モデルとその応用」主査
平成21年 第21回RAMPシンポジウム実行委員
平成24年 秋季研究発表会実行委員

桑野氏は、平成3年から北陸地区での研究部会活動に携わり、平成17年から現在まで中部支部運営委員としてOR研究活動の普及に尽力している。中部支部は、地理的に東海地区を中心とする地域と北陸地区に分断されているため、研究普及活動も両地域で個別に行われていたが、平成14年富山での春季研究発表会を期に一体となりORの研究普及活動に取り組むようになった。桑野氏が中部支部運営委員となった平成17年以降は年研究活動が一層活性化した。

研究活動においては、大学院以降一貫してファジィ最適化問題に取り組み、ファジィ理論の発展と実社会への応用に多大な貢献をしている。